

久山中便り

久山中学校

令和8年7月14日発行

第31号

認知症への理解

福祉講座・三年生

13日(月)の6校時。
三年生を対象に福祉講座「自分らしく生きる」とは」の講演会を開催しました。

これは、社会福祉協議会との共催で、若年性認知症の当事者の方の講話を通して、認知症への正しい理解、相手に寄り添うことの大切さ、自分たちにできる支えや行動などについて考え、福祉への関心を高めることを目的として実施しました。

生徒の皆さんの感想です。

・認知症でもとても前向きな方でした。認知症になると、何もかも終わりに感じる感じて



あるのかなと思っていたけど、全然そんなことないんだなと思いました。

・私の身の回りには認知症の人がいないので、こういうものが全く想像がつかなかったけど、今回の講演を通して、以前よりも理解できたとし、対応も少しわかるようになりました。

・失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジしてみたいと思いました。

・認知症に対する見方、考え方が大きく変わりました。

当事者の方から直接お話を聞くことで、認知症に対する考え方が変わった生徒の皆さんが多かったようです。

高齢社会に突入している現代社会。中学生の皆さんが大人になったところには、さらに考えなくてはならない問題になっているかもしれません。

科学の甲子園ジュニア

福岡県教育委員会が開催している「科学の甲子園ジュニア」(中学一・二年生対象)が今月26日(日)に、福岡県庁講堂で実施されます。

この大会は、地区大会(8地区)にはじまり、福岡県大会と続き、毎年12月に実施される全国大会へとつながっています。

久山中から、地区大会への出場チームは5チーム(1チーム3名)。チームで、数学・理

科の競技問題(地区大会は筆記競技のみ)に挑戦します。

13日(月)の昼休みに、過去問題を配布し、問題への対応方法を解説しました。

競技問題は、超難問がそろっていますので、「できる・できない」を早く区別して、できる問題から対応していくことが重要です。

さつそく、二年生のチームは、過去問題を熱心に読み始めました。地区大会を突破できるのは、1チームのみ。久山中から初の県大会へ出場するチームが出ること期待しています。



ももたろう・カフェ

KBCラジオで放送された「ふるさとWish」の取材でも発表したように、17日(金)の終業式後の12時に開店します。

今回は、社会福祉協議会の皆さんにもたくさんお越しいただく予定です。

楽しい時間になるように企画しますので、ご来店、お待ちしております。